

## Project 2 事例紹介 日本モンゴル教育病院建設計画 (一般プロジェクト無償)

### プロジェクトの背景

モンゴルでは、人口流入が著しい首都ウランバートル市郊外や地方の一次及び二次医療サービスの整備が遅れており、また医師が不足している上、その技術水準の低さが課題となっています。このような状況から、モンゴル政府は医師の研修体制と二次医療施設の整備を進めています。

地方での一次レベルの医師不足を解消するため、モンゴルの医師は卒業後2年間の地方勤務が義務付けられており、その地方勤務後に卒後研修が行われています。しかし、唯一の医療系国立大学である国立医科

大学には臨床実習施設が無いため、卒後研修は医科大学が提携する市内の三次病院に分散して行われています。これらの三次病院には、卒後研修を行うための施設が整備されておらず、臨床実習の内容及び設備の整備が課題となっています。

以上の状況のもと、本プロジェクトではモンゴル初の教育病院をウランバートル市内に建設することにより、卒後研修の質の向上、及び優先度の高い三次医療サービスと市内の二次医療サービスの向上を図ることを目標としています。2018年7月の竣工を予定しています。

### プロジェクトの概要

- 供与金額: 79.85 億円(一般プロジェクト無償案件としては世界でも最大規模案件)
- 施設概要: 地下 1 階、地上 3 階、鉄筋コンクリート造、床面積 15,730 m<sup>2</sup>(本館)、ボイラー棟(775 m<sup>2</sup>)
- 外来診療部門(外科・外傷科、眼科、耳鼻科、内科・神経科、産婦人科、小児科、感染症科)、画像診断部門、内視鏡部門、救急部門、ICU 部門、手術部門、検査部門、薬剤部門、滅菌部門、厨房部門、事務管理・教育部門(講義室、会議室、図書室)、病歴部門、霊安部門、一般サービス部門、病棟 104 床



起工式の様子(2016年3月30日撮影)



基礎工事の様子(2016年9月24日撮影)

### 期待される効果

教育病院としての機能を有する二次病院がウランバートル市内に整備されることで、卒後研修の質の向上、及び優先度の高い三次医療サービスと市内の二次医

療サービスの向上が期待されつとともに、医療人材育成の環境の整備が期待されます。